

第 50 回（2019 年度）
三菱財団社会福祉事業並びに研究助成応募要領

1. 助成の対象

①事業・研究の内容

- イ. 事業 : 現行制度上、公の援助を受け難い、開拓的ないし実験的な社会福祉を目的とする民間の事業（原則として法人に限る）。
- ロ. 調査研究 : 開拓的ないし実験的な社会福祉に関する科学的調査研究（個人・法人いずれも可）。

- (注) 1 ここでの“開拓・実験性”とは、新たな視点に基づき展開される社会的意義のある事業ないし研究で、類似例への適用や普遍化の可能性につながるもの、等を想定しています。
- 2 “事業”においては、公的援助が得にくく、社会的意義があり、他地域への発展・普及の可能性のある活動、もしくは福祉現場における“地域性・個別性”が高い活動、あるいは“実践的、草の根的”な活動に基づくものについては、“開拓・実験性”に拘らず、採り上げることもあります。
- 3 外部委託が著しく、研究者・事業者の主体性が損なわれるような研究・事業は、助成対象となりません。
- 4 “調査”については、倫理、個人情報保護等の法規定や精神を十分に踏まえたものであることの説明が必要です。

<連携・協働型について>

なお、上記「イ. 事業」「ロ. 調査研究」の中でも、研究者と社会福祉事業者／活動者等、または異なる専門領域の複数のメンバーの方がチームを形成し、同一の社会課題に対し、より多角的に、ダイナミックに挑戦する提案型の応募（以後、「連携・協働型」と呼びます。）も期待します。「連携・協働型」の応募につきましても、助成金額、期間等について、より柔軟に対応します。

具体的には、下記の類型 1.または 2.にあてはまる応募内容の場合、助成申込書作成時に「連携・協働型」の該当欄にチェックを入れ、申請して下さい。なお、「連携・協働型」にあたるか否かについてはホームページにあります「連携・協働型について」を参考の上、ご判断下さい。

1. 研究・事業活動連携型

一つの社会課題に対し、研究者と社会福祉事業者／活動者がチームを組んで、各々の役割分担を明確にし、各々が有するノウハウ、経験を結集することで、より有効で具体性のある解決策を求めるもの（いわば研究と実践の壁を取り払い、一気通貫で課題解決の糸口を探る取り組み（チームに、研究者の方と社会福祉事業者／活動者等の双方が含まれることが条件となります））。

2. 複数領域協働型

一つの社会課題解決のために、複数の領域の専門家がチームを組み、課題を多面的に捉えることで、一研究者では成し得ない奥行き感のある成果を期待するもの。
また、社会福祉事業者の場合、種々の枠組みにチャレンジし、よりダイナミックなアプローチを可能とするチーム形成もあるかと考えます。既存概念を破るチャレンジに期待します（同じ研究分野の研究者によるチーム、または同じ業種の事業者によるチームは本類型には含まれませんのでご注意ください）。

応募される案件が上記「連携・協働型」の場合、必ず助成申込書において上記類型の「1. 研究・事業活動連携型」または「2. 複数領域協働型」のいずれで応募するか申告し、併せて助成申込内容 5 ページの「チームの体制」欄にチーム構成を記入して下さい。

②申込者の資格一般

- イ. 日本国内において事業ないし研究の継続的拠点を有するもの（国籍等は不問）。
- ロ. 営利目的の企業等並びにその関係者は対象外。
- ハ. 代表研究者及び協同研究者、実施担当者・関係スタッフは、本財団の同一年度の助成に複数応募することは出来ません。従って、代表研究者が（他分野も含め）他の応募案件の協同研究者を兼務したり、協同研究者、実施担当者・関係スタッフが他の応募案件の協同研究者、実施担当者・関係スタッフを兼務することも出来ません。
なお、複数応募が判明した場合は、応募を取り下げただけいただくことがございます。

2. 助成の概要

①助成金額

本財団は、2019年に設立50周年を迎えます。50周年記念特別助成として、社会福祉事業・研究助成において、2019年度及び2020年度（予定）については、昨年度より助成金額総額を1,000万円増額し、総額約1億円を予定します。1件宛の金額は特に定めません。

②助成金使途

助成金の使途は下記の通りとします。

- イ. 調査研究費
- ロ. 施設費（建設、設備）
- ハ. 施設以外の経費（職員研修費等を含む）

（注）

1. 単なる施設建設、設備・機器購入等のみを目的とした申込は対象外とします。
2. 事業のスタートアップ資金の場合、助成期間終了後の事業継続可能性が明示されることを条件に、一部経常的資金への支援を認めることがあります。
3. 実施担当者・関係スタッフ・協同研究者については代表研究者・代表者と同様、謝金の支払いは認められませんが、旅費等の支払いは可能となります（事業への協力者、研究補助者等への謝金は認められますが、旅費等の支払いは認められません）。

4. 代表研究者・代表者に、助成金使用に係わるすべての管理責任を持って頂きます。
5. 研究の実施者が所属する組織の間接経費・一般管理費等も助成の対象外となりますのでご留意下さい。

③助成期間

助成決定から1年を原則としますが、事情により2年間にわたる使用も認められます(2ヵ年度分の助成申込を一括査定し、助成金は2ヵ年で使用されることとなります)。

④選考協力等

所定の申込書、資料に加え、更に詳しい書類等の提出をお願いしたり、面接、現地訪問等をさせて頂くことがあります。なお、2019年度につきましては候補者の方には4月中旬頃に面接を予定しております。面接対象となられた方には、2019年3月28日(木)までにメールでご連絡させていただきます。

⑤助成決定時の義務・条件

- イ. 選考の結果、助成対象者となられた場合は、財団所定の「助成承諾書」を別途提出頂き、これにより事業・研究の経過あるいは完了報告、収支会計報告、その他使途変更事前相談手続等の義務を負って頂く事になります。
- ロ. 事業・研究の経過・完了報告については、その一般公開についての同意をお願い致します。
- ハ. 助成金贈呈式を2019年9月11日(水)に予定しています。贈呈式には助成金受領者ご本人にご出席頂くこととなります。原則、代理出席は認めておりません。

3. 選考方法・結果通知等

①選考方法

財団委嘱の下記委員からなる選考委員会において慎重審議の上、その答申案に基づき、2019年6月開催予定の財団理事会において正式決定されます。なお、審査の進捗状況についてのお問い合わせには、一切回答致しかねますので、ご了承下さい。

(選考委員)

水田 邦雄 (委員長)	佐藤 敏信
早瀬 昇	中村 耕三
和気 純子	福岡 寿 (敬称略)

(専門委員)

助成申込の内容によっては適宜専門委員を委嘱します。

②結果通知等

- イ. 結果は決定後直ちに申込者各位宛に書面で通知されます。なお「助成先一覧」は、本財団インターネットホームページ上に掲載するほか各種福祉関係広報資料(福祉新聞・社協ニュース等)にも掲載を依頼致します。

ロ. 採否の理由についてのご照会には回答致しかねますのでご了承下さい。

4. 応募期間

2018年12月27日(木)～2019年1月24日(木) 午後5時

*期間内に必着のこと

*応募書類を三菱財団事務局へ直接お持込みになることはご遠慮下さい。

5. 応募方法

①「助成申込書」の作成

応募にあたっては、本財団インターネットホームページ上で作成した「助成申込書」を印刷し、代表研究者印もしくは代表者印（公印、法人・団体の場合）を押印の上、別途下記②で作成する「助成申込内容」と共に送付して下さい。

[ホームページアドレス]

<http://www.mitsubishi-zaidan.jp>

なお、インターネットホームページ上で「助成申込書」を作成しただけでは助成の申し込みにはなりませんので、ご注意下さい。

応募には、下記②「助成申込内容」の作成及び「助成申込書」「助成申込内容」双方の送付が必須となります。

また、「ご応募の際によくある質問と回答」をインターネットホームページ上の「応募Q&A」に掲載していますので、ご参照下さい。

<「助成申込書」作成の手順>

- イ. 本財団インターネットホームページ上の「助成について」より「社会福祉事業・研究助成」を選択し「社会福祉事業・研究助成申込書、助成申込内容」をクリックします。
- ロ. Step1にある「マイページを取得する」ボタンをクリックすると、メールアドレスの登録画面が表示されますので、応募される方のメールアドレスを入力するとともに、助成金種類欄から「社会福祉事業・研究助成」を選び、登録します。
- ハ. 登録されたメールアドレスにマイページ登録用の URL がメールで届きますので、その URL にアクセスします。
- ニ. パスワード設定画面が表示されますのでパスワードを入力、併せてパスワードを忘れた場合の秘密の質問・回答を登録します。
- ホ. ログイン ID が自動発行され画面に表示されると共にメールにも届きますので、発行された ID とパスワードを使い、マイページにログインします。
- ヘ. 基本情報の「編集」ボタンをクリックし、入力画面に進みます。
「申込者」、「申込内容」、「協同研究者」、「連絡責任者」、「当財団助成実績」（過去に当財団の助成金を受領された方のみ）の各項目を入力し、確認画面で入力内容のエラーチェックをした後、保存します（なお、「申込内容」で「連携・協働型」を選択された場合は、「助成申込内容」5ページの「チームの体制」欄の記入が必須となります）。

ト. 入力内容が確定したら「基本情報 Web 入力完了」ボタンを押します。

(注)「基本情報 Web 入力完了」ボタンを押すと、入力内容の変更はできなくなりますのでご注意ください。

チ. 「助成申込書」(PDF)を表示・印刷し、代表研究者印を押印の上、下記②で作成する「助成申込内容」に表紙として付け、申込書一式正本として下さい。

(注) 出力した「助成申込書」(PDF)には、変更を加えないで下さい。内容の変更が必要な場合は、本要領 8 ページ記載の本財団事務局までご連絡下さい。

なお、Web 操作に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

Tel. 東京 (03) 3626-1307 (平日 午前 9 時～午後 5 時)

E-mail. mitsubishi-zaidan@yoshida-p.co.jp

(ヨシダ印刷株式会社 三菱財団サポート担当)

< 「助成申込書」作成上のご留意点 >

イ. お申込の分野を、次の 19 項目 (A～S) の中から 3 つ以内で選び、「助成申込書」の該当番号欄へ入力して下さい。

- | | | |
|-------------------|--------------|--------|
| A 乳児 | I 地域・在宅支援 | Q 環境福祉 |
| B 児童・青少年 | J 世代間交流 | R 自殺予防 |
| C 高齢者 | K 貧困・格差 | S その他 |
| D 身体障害 | L 差別・排除 | |
| E 知的障害 | M ジェンダー | |
| F 精神障害 | N アディクション | |
| G 発達障害 | O 多文化共生・国際協力 | |
| H 親子・家族 (含、母子・父子) | P 災害復旧・防災 | |

ロ. 申込者が法人・団体の場合、その法人・団体の活動内容につき、次の 19 項目 ((1)～(19)) の中から主要な該当項目を 5 つ以内で選び、「助成申込書」の該当番号欄へ入力して下さい。

- (1) 保健、医療又は福祉の増進を図る活動
- (2) 社会教育の推進を図る活動
- (3) まちづくりの推進を図る活動
- (4) 農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動
- (5) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
- (6) 環境の保全を図る活動
- (7) 災害救援活動
- (8) 地域安全活動
- (9) 人権の擁護又は平和の推進を図る活動
- (10) 国際協力の活動
- (11) 男女共同参画社会の形成の推進を図る活動

- (12) 子どもの健全育成を図る活動
- (13) 情報化社会の発展を図る活動
- (14) 科学技術の振興を図る活動
- (15) 経済活動の活性化を図る活動
- (16) 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動
- (17) 消費者の保護を図る活動
- (18) 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動
- (19) その他

②「助成申込内容」の作成

- イ。「助成申込内容」の書式は、本財団インターネットホームページ上にて、“助成応募要領”と共に、12月上旬以降、2019年度分を掲載致しますので、これをご参照下さい。
- ロ。「助成申込内容」の用紙は原則として、このインターネットホームページにて、Microsoft Word 書式、PDF 書式で示してあるものをダウンロードの上ご使用下さい。
- ハ。文字数に制限がある項目以外に入力文字制限はありませんが、印刷時に表示されないことがあります。必ず印刷プレビューもしくは印刷物で確認して下さい。
 なお、PDF 書式をご利用の場合、文字数が多くなると字が小さくなります。字があまり小さくならないよう文字数を調整の上、入力して下さい。
- ニ。なお、「連携・協働型」の「1. 研究・事業活動連携型」を選択された場合は研究者の方と社会福祉事業者／活動者等のお名前とチームにおける役割（担当職務）を、「2. 複数領域協働型」を選択された場合は複数の領域の専門家の方それぞれのお名前とチームにおける役割（専門領域）を、5 ページの「チームの体制」欄に明記して下さい。

<「助成申込内容」記入上のご留意点>

- イ。研究申込の場合、代表研究者が大学・研究所・法人等の組織に所属される場合は、当該組織の所属機関の「長」^(注) から本件研究助成申込についてのご承認印（職印）を「助成申込内容」の最終頁に押捺頂いた上、ご送付下さい（なお、職印は公印としますが、個人印を公印として使用されている場合は個人印でも可とします）。
 なお、所属機関長の承諾欄に直接記入される場合は、黒インク又は黒ボールペンを使用し、楷書で明瞭に記入して下さい。
- ロ。他機関に所属する協同研究者が参加される場合、主要な協同研究者については、その協同研究者の所属機関の「長」の了承を得ておいて下さい（応募時点では確認致しませんが、後日、書面にて確認させて頂く場合があります）。
 （注）例えば、大学院研究科長、学部長、研究所長等、直属の所属機関長。
- ハ。NPO 法人で、認定／特例認定を取っている場合は、その旨、「助成申込内容」2 ページの「申込者属性」の該当欄にご記入下さい。
 また、外部機関による第三者評価・認証^(注1) または自己評価ツール^(注2) による自己診断を実施されている場合は、助成申込内容の該当欄にチェックするとともに、評価結果 2 部を添付して下さい。

(注1) 一般財団法人非営利組織評価センター (JCNE) による公益活動を行う団体の評価及び認証を想定しています。

(注2) 非営利組織に対する外部評価もしくは組織評価に関する自己評価ツール・信頼認証ツールのことで、組織の運営状況、ガバナンスの確実性を測定するツールであり

- ①エクセレント NPO をめざそう市民会議
- ②NPO 国際協力 NGO センター (JANIC)
- ③一般社団法人 社会的認証開発推進機構 (AAC)

等の団体が用意しているものです。

③申込書一式の提出と受付の確認

イ. 申込書一式 (「助成申込書」「助成申込内容」及び付属資料) の提出は、送付によります。FAX あるいはホームページ上での受付、E-mail での申込受付は致しません。

ロ. 申込書一式の送付 (*印のものは必ず送付願います)

- ・ * 申込書一式正本 (「助成申込書」(押印済) 及び「助成申込内容」)・・・1部
- ・ * 申込書一式副本 (上記申込書一式正本 (押印済) のコピー)・・・7部
正本、副本ともに片面印刷 (コピー)、左肩上で各ホチキスどめして下さい。
- ・ * 法人・団体申込の場合は、定款・寄附行為等、役員名簿、
資産負債の状況、活動状況がわかる案内書等・・・・・・・・・・2部
なお、外部機関による第三者評価・認証または自己評価ツールによる自己診断を実施されている場合は、評価結果2部を同封して下さい。
- ・ 研究者の方の場合は、主要発表論文、特に今回お申込の案件に関する論文 (両面コピー可) 3篇以内、各2部を同封して下さい。なお、当該資料は原則として返却致しません。

ハ. 応募申込には、本財団インターネットホームページ上で作成した「助成申込書」及び「助成申込内容」双方の送付が必須となりますので、ご注意下さい。

ニ. 本財団で申込書一式を受理しましたら、「助成申込書」に記載された連絡責任者にメールでご通知致します。応募期間の最終日以降1週間を過ぎても受理メールが届かない場合は、本財団事務局までご連絡下さい。

ホ. なお、Web 入力完了後に「助成申込書」に登録された基本情報の変更を希望される場合は、本財団事務局までご連絡下さい。

ヘ. ご提出頂いた申込書一式、添付資料等は返却致しかねますので、あらかじめご了承下さい。

(注) 所属機関でまとめて送付される場合

申込書類一式は、申込者一名分ずつ封筒 (表書きに申込者名明記) に入れた上で、
取りまとめてお送り下さい。

6. 個人情報取扱いについて

①個人情報は原則として利用目的の範囲内で、かつ業務遂行上必要な限度内で利用致します。

②法令等の定める場合を除き、事前に本人の同意を得ることなく個人情報を第三者に提供致しません。

7. 反社会的勢力からの応募について

反社会的勢力および反社会的勢力と関係すると認められる個人もしくは法人からの応募は受け付けられません。

【申込書類提出先・お問い合わせ先】

公益財団法人 三菱財団事務局
〒100-0005 東京都千代田区丸の内2丁目3番1号（三菱商事ビル21階）
Tel. 東京（03）3214-5754
Fax. 東京（03）3215-7168
E-mail. info@mitsubishi-zaidan.jp

追記 参考資料として、本財団第47回以降（過去3年度）の助成先一覧を添付します。
応募件数と同金額は以下の通りです。

平成28年度(2016年度) 187件 578百万円

平成29年度(2017年度) 217件 739百万円

平成30年度(2018年度) 232件 748百万円

以上

2018年11月

公益財団法人 三菱財団

第47回（平成28年度）三菱財団社会福祉 事業・研究助成先一覧

番号	所在地	名 称	使 途	金 額
1	東京都	特定非営利活動法人楽の会リーラ 理事長 安齋 陽一 (あんざい よういち)	生活困窮者自立支援法における「ひきこもり・発達障害者」支援充実の調査事業 並びに家族会立上げ事業	1,950,000円
2	静岡県	特定非営利活動法人 静岡司法福祉ネット明日の空 代表理事 飯田 智子 (いいだ ともこ)	生活困窮等を原因として犯罪を惹起した者の社会再定着過程における現状調査と社会復帰支援活動モデルの実践	2,900,000円
3	京都府	公益財団法人 京都市国際交流協会事業課 行政通訳相談事業コーディネーター 飯田 奈美子 (いいだ なみこ)	在住外国人の母子保健支援と市民的専門性の形成ー新たな通訳技術の構築ー	1,500,000円
4	宮城県	特定非営利活動法人子どもの村東北 理事長 飯沼 一字 (いいぬま かずいえ)	フォスターケア（里親養育）の日本モデル構築のための一試行と考察	1,200,000円
5	東京都	東京大学大学院医学系研究科 講師 五十嵐 歩 (いがらし あゆみ)	地域高齢者の健康情報データベースの構築：新たな要介護認定方式の妥当性の検討	1,400,000円
6	神奈川県	相模女子大学学芸学部 専任講師 池下 花恵 (いけした はなえ)	識字学習におけるインタラクティブ教材の開発	930,000円
7	大阪府	特定非営利活動法人 大阪精神医療人権センター 代表理事 位田 浩 (いだ ひろし)	精神科病院入院患者への意思決定支援を担う「権利擁護者」の育成プログラムの開発	2,250,000円
8	東京都	東京学芸大学 人文社会科学系 准教授 伊藤 由希子 (いとう ゆきこ)	高齢者における主体的就業能力向上ー米国職業データベース O*NET 日本版の活用を通してー	1,800,000円
9	東京都	東京大学大学院情報理工学系研究科 准教授 入江 英嗣 (いりえ ひでつぐ)	視覚障害者の支援へのドローンの活用可能性に関する調査研究	2,900,000円
10	東京都	東京都立東部療育センター小児科 副院長 岩崎 裕治 (いわさき ゆうじ)	重症心身障害者のグループホームに関する研究ーグループホームへのニーズ調査および先駆的施設の調査ー	1,200,000円
11	大阪府	特定非営利活動法人 暮らしづくりネットワーク北芝 代表理事 埋橋 伸夫 (うずはし のぶお)	住まいを伴う生活支援・就労支援を通してコレクティブタウンの普遍化要素を構築する調査研究事業	2,900,000円
12	神奈川県	よこはま発達クリニック児童精神科 代表 内山 登紀夫 (うちやま ときお)	福島第一原発事故による避難地区の乳幼児のメンタル状態・行動特性把握と支援方法の検討	3,300,000円
13	石川県	北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 准教授 鶴木 祐史 (うのき まさし)	非言語情報の伝送が可能な人工内耳用音声信号処理法の開発	2,600,000円

(代表研究者50音順、以下同じ。)

番号	所在地	名 称	使 途	金 額
14	宮城県	一般社団法人 キッズ・メディア・ステーション 代表理事 太田 倫子 (おおた みちこ)	石巻日日こども新聞のこども記者による「石巻日日こども商店」	4,000,000円
15	兵庫県	神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 実習助手 岡田 強志 (おかだ つよし)	【児童福祉施設版】司法面接研修プログラムの開発	1,100,000円
16	愛知県	名古屋大学医学部附属病院 助教 城所 博之 (きどころ ひろゆき)	早産児がNICU退院後に受ける乳児期発達支援プログラムの構築と実践	1,400,000円
17	岩手県	岩手県立大学総合政策学部 教授 倉原 宗孝 (くらはら むねたか)	施設内看取りや在宅看取り推進に向けた高齢者意思聴取り調査方法及びその表現・共有方法に関する基礎的研究	1,800,000円
18	東京都	東京大学大学院総合文化研究科 准教授 小池 進介 (こいけ しんすけ)	精神疾患のスティグマ軽減を目的とした当事者インタビュー動画の作成と多角的評価	2,250,000円
19	東京都	聖路加国際大学看護学部 教授 小林 京子 (こばやし きょうこ)	小児脳腫瘍患者・経験者の認知機能への包括支援の構築	2,400,000円
20	愛知県	名古屋大学学生相談総合センター 特任講師 佐藤 剛介 (さとう こうすけ)	自閉症スペクトラム障害の社会適応に関する社会生態学的国際比較研究	1,500,000円
21	大阪府	大阪府立母子保健総合医療センター 母子保健情報センター センター長 佐藤 拓代 (さとう たくよ)	思いがけない妊娠の相談・支援に関する研究	1,700,000円
22	東京都	社会福祉法人ふれあい福祉協会 理事長 佐藤 哲朗 (さとう てつお)	ハンセン病療養所退所者実態調査	2,600,000円
23	栃木県	国際医療福祉リハビリテーションセンター センター長 下泉 秀夫 (しもいずみ ひでお)	発達障害児、情緒障害児を早期に発見し地域で支援するためのシステムの開発	2,500,000円
24	福岡県	特定非営利活動法人サイエンス・アクセンビリティ・ネット 代表理事 鈴木 昌和 (すずき まさかず)	読み書きが困難な児童生徒達のための文章・数式入力可能なマルチメディアDAISYプレイヤーの開発	3,000,000円
25	東京都	一般社団法人 日本国際手話通訳・ガイド協会 代表理事 砂田 武志 (すなだ たけし)	「日本手話ー日本語」通訳(翻訳)技術の習得に関する研究ー手話の科学的分析及び翻訳の等価性についてー	1,500,000円
26	京都府	公益社団法人認知症の人と家族の会 代表理事 高見 国生 (たかみ くにお)	安心社会をめざす認知症当事者団体ネットワーク構築事業	2,000,000円
27	宮城県	田上 佑輔 (たのうえ ゆうすけ)	地方の少子高齢化・医療資源不足の解消に向けた新たなモデルの提案に向けたプロジェクト	2,900,000円

番号	所在地	名 称	使 途	金 額	
28	愛知県	特定非営利活動法人アスペエルデの会 理事長 辻井 正次 (つじい まさつぐ)	保育士による発達障害およびその傾向のある幼児の早期支援モデルの確立	1,450,000円	
29	東京都	公益社団法人 日本てんかん協会 会長 鶴井 啓司 (つるい けいじ)	「てんかん」のある人の救急搬送に関する実情把握と安心システム構築に向けた研究事業	2,100,000円	
30	大阪府	大阪大学 キャンパスライフ支援センター 講師 中野 聡子 (なかの さとこ)	聴覚障害当事者を対象とした高度専門領域における支援者養成マネジメントプログラムの開発	2,900,000円	
31	千葉県	特定非営利活動法人 エコ平板・防塵マスク支援協会 理事長 橋田 隆明 (はしだ たかあき)	機械工具を使ったエコモザイク製作のステップアップ	2,550,000円	
32	茨城県	一般財団法人ワンアース 代表理事 長谷川 洋一 (はせがわ よういち)	千年後の子孫たちへ、東日本大震災の記憶を語り継ぐための宇宙桜伝説の創作	1,500,000円	
33	東京都	特定非営利活動法人 多文化共生センター東京 代表理事 栢木 典子 (はげき のりこ)	外国にルーツをもつ子どもたちのための多言語学習用語集(数学編)	1,670,000円	
34	滋賀県	滋賀医科大学医学部 教授 一杉 正仁 (ひとすぎ まさひと)	脳卒中患者の交通社会復帰に向けた包括的支援策の確立と標準化	1,500,000円	
35	東京都	特定非営利活動法人DPI日本会議 議長 平野 みどり (ひらの みどり)	障害者総合支援法モデルチェンジデザイン提言事業	2,150,000円	
36	東京都	特定非営利活動法人テストと学習環境のユニバーサルデザイン研究機構 理事長 藤芳 衛 (ふじよし まもる)	重度視覚障害者も自立的な点字教材の作図を可能にする作図システムの改良と作図法の学習支援	3,000,000円	
37	岩手県	岩手医科大学医学部 講師 八木 淳子 (やぎ じゅんこ)	東日本大震災後に誕生した子どもとその家族への縦断的支援研究	3,100,000円	
38	埼玉県	城西大学経営学部 准教授 山口 理恵子 (やまぐち りえこ)	スポーツ界の体罰・セクシュアルハラスメントに関する処罰規定の比較研究	1,100,000円	
39	宮崎県	宮崎大学テニユアトラック推進機構 講師 吉永 尚紀 (よしなが なおき)	職場における対人ストレス軽減に向けて：看護師に対するアサーティブ・トレーニングの短縮版プログラム開発および効果検証	1,500,000円	
合 計				39 件	82,000,000円

第48回（平成29年度）三菱財団社会福祉 事業・研究助成先一覧

番号	所在地	名 称	使 途	金 額
1	宮崎県	宮崎大学工学部 准教授 李 根浩 (いぐんほ)	高齢者における歩行・起立着座の動作アシストを目的とした下肢動作支援機の研究開発	2,100,000円
2	東京都	一般社団法人日本摂食障害協会 理事長 生野 照子 (いくの てるこ)	摂食障害患者の就労実態調査と社会復帰支援	2,000,000円
3	徳島県	徳島大学大学院社会産業理工学研究部 助教 伊藤 伸一 (いとう しんいち)	特別な訓練を必要としない意思を伝達するブレイン・コンピュータ・インタフェース開発のための基盤研究	1,500,000円
4	大阪府	特定非営利活動法人 働く者のメンタルヘルス相談室 理事長 伊福 達彦 (いふく たつひこ)	自死遺族自助グループとの協働と自死を考えるパネル展から見てきた自死予防モデルの構築	2,000,000円
5	東京都	東洋大学社会学部 助教 岩田 千亜紀 (いわた ちあき)	高機能自閉症スペクトラム障害(HF-ASD)圏の母親に対する解決志向アプローチ型ワークショップの開発および効果検証	800,000円
6	東京都	東京大学先端科学技術研究センター 准教授 巖淵 守 (いわぶち まもる)	保護者による日常的な観察を通じた重度・重複障害児の実態把握とコミュニケーション支援に向けた調査研究	2,500,000円
7	熊本県	熊本大学生命科学研究部 教授 宇佐美 しおり (うさみ しおり)	大規模災害後の看護職離職防止プログラムおよび人材育成トレーニングプログラムの開発	1,500,000円
8	東京都	聖路加国際大学大学院看護学研究科 教授 大田 えりか (おおた えりか)	就労女性のプレコンセプショナルケアのための包括的介入パッケージの開発	2,700,000円
9	京都府	京都大学大学院医学研究科 准教授 大鶴 繁 (おおつる しげる)	多職種連携による、災害時の病院被害に関する実態把握と事業継続計画(BCP)に基づく“病院避難”意思決定支援モデルの開発	2,700,000円
10	神奈川県	相模女子大学人間社会学部 教授 尾崎 康子 (おざき やすこ)	自閉症スペクトラム障害の社会的コミュニケーション発達を促すペアレントプログラムの効果検証と社会的普及	2,500,000円
11	大阪府	大阪大学大学院医学系研究科 准教授 蔭山 正子 (かげやま まさこ)	精神障害者の家庭内暴力解消に向けたインターネット学習プログラムの開発ー障害者発のユーモア交えた動画ー	4,000,000円
12	神奈川県	公益財団法人 横浜市男女共同参画推進協会 理事長 川名 薫 (かわな かおる)	若年無業女性の就労体験修了者追跡調査とプログラム検証および支援モデルの提示	1,800,000円
13	神奈川県	聖マリアンナ医科大学予防医学教室 講師 木村 美也子 (きむら みやこ)	障がい児の親が被災時に遭遇するネガティブサポートの実態とその影響に関する研究	2,000,000円

(代表研究者50音順、以下同じ。)

番号	所在地	名 称	使 途	金 額
14	京都府	同志社女子大学現代社会学部 教授 日下 菜穂子 (くさか なほこ)	幸福の生活習慣をサポートするハートフル・ロボットの開発による長寿時代のコミュニティ形成	2,700,000円
15	神奈川県	特定非営利活動法人スローレーベル 理事長 栗栖 良依 (くりす よしえ)	障害者の心身の機能向上のためのトレーニングプログラム(メソッド)の研究開発と普及活動	4,200,000円
16	東京都	上智大学グリーンケア研究所 特別研究員 小高 真美 (こだか まなみ)	地方自治体等における自殺予防のためのゲートキーパー研修を科学的に評価するためのツールキットの開発研究	2,400,000円
17	広島県	広島文教女子大学教養教育部 特任講師 小原 寿美 (こはら ひさみ)	外国人介護看護人材の学習継続とキャリア形成に及ぼす影響に関する研究	2,200,000円
18	北海道	北海道大学保健センター 講師 齋藤 暢一朗 (さいとう ちょういちろう)	長期ひきこもりを抱える家族の心理的リソースを促進する包括的アプローチ	1,500,000円
19	神奈川県	一般社団法人てとて リンクよこはま訪問看護ステーション 作業療法士 崎本 麻衣 (さきもと まい)	精神障害者のリハビリと生活の困難さの関連の検証	2,000,000円
20	東京都	東京都健康長寿医療センター研究所 福祉と生活ケア研究チーム 研究副部長 島田 千穂 (しまだ ちほ)	超高齢者の治療の選択に伴う倫理的課題;地域包括ケアシステムにおける急性期医療のあり方	1,200,000円
21	茨城県	筑波技術大学保健科学部 准教授 嶋村 幸仁 (しまむら ゆきひと)	視覚障害者目的地誘導システムに関する実証研究	2,000,000円
22	東京都	芝浦工業大学工学部 准教授 菅谷 みどり (すがや みどり)	生体情報計測による感情推測を制御に反映した高齢者向けリハビリ促進のロボットの研究開発	2,400,000円
23	東京都	国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 流動研究員 鈴木 浩太 (すずき こうた)	発達障害児・者をもつ家族に対する支援法の提案-家族レジリエンスに着目して	900,000円
24	東京都	成蹊大学理工学部 教授 鈴木 誠一 (すずき せいいち)	全盲の方の生活に潤いをもたらし、外出のモチベーションを高める為の聴覚VR技術応用支援システムの研究開発	2,600,000円
25	三重県	鈴鹿医療科学大学保健衛生学部 准教授 鈴木 亮子 (すずき りょうこ)	震災時における認知症の人と家族への介護事業所の支援力向上プログラムの開発及び評価	2,800,000円
26	東京都	特定非営利活動法人ADDS 共同代表 竹内 弓乃 (たけうち ゆの)	発達障害児に対する早期療育のためのロボットとvirtual realityを活用した人材育成プログラムの開発事業	4,000,000円
27	東京都	特定非営利活動法人ジャパンマック 代表理事 岡崎 直人 (おかざき なおと)	依存症者回復支援施設におけるギャンブル依存症者に対する支援プログラムの調査研究事業	2,200,000円

番号	所在地	名 称	使 途	金 額	
28	東京都	公益財団法人日本ダウン症協会 代表理事 玉井 邦夫 (たまいくにお)	ダウン症の専門家と支援者のネットワーク構築、広範な領域をカバーした「第1回日本ダウン症会議」の開催	2,000,000円	
29	京都府	同志社大学社会学部 准教授 永田 祐 (ながた ゆう)	困難を抱えた子どもに対する分野を越えた多様な主体の連携・協働による地域福祉実践プロセスの研究	3,500,000円	
30	東京都	一般社団法人ハビリスジャパン 理事長 長野 洋 (ながの ひろし)	上肢欠損小児の運動用義手のニーズと有効性に関する研究および総合的な普及支援事業	5,300,000円	
31	兵庫県	関西労災病院神経内科 部長 野崎 園子 (のざき そのこ)	Information Communication and Technology (ICT) による在宅摂食嚥下リハビリテーションの有用性の検討	1,500,000円	
32	神奈川県	一般社団法人 スローコミュニケーション 代表理事 野澤 和弘 (のざわ かずひろ)	知的障害者への合理的配慮提供の促進のための研究事業ー「わかりやすい言い換え用例集」の作成を通してー	3,000,000円	
33	長崎県	長崎大学生命医科学域 教授 平野 裕子 (ひらの ゆうこ)	インドネシアにおける日本向け介護職者送出しプログラム構築に関する基礎的研究	1,800,000円	
34	埼玉県	一般社団法人 レインボーフォスターケア 代表理事 藤 めぐみ (ふじ めぐみ)	社会的養護のもとで暮らす性的マイノリティ (LGBT) 児童の対応に関する調査プロジェクト	2,000,000円	
35	東京都	日本医科大学大学院医学研究科 准教授 布施 明 (ふせ あきら)	東京五輪に対応したSNSによる熱中症サーベイランスとアクティブ・サポートに関する研究	2,800,000円	
36	大阪府	公益社団法人子ども情報研究センター 代表理事 森山 康浩 (もりやま やすひろ)	児童養護施設への市民訪問アドボカシーモデルの開発	2,100,000円	
37	東京都	東京大学医学部附属病院 助教 和田 明 (わだ あきら)	22q11.2欠失症候群を持つ当事者とその家族へのニーズ調査と支援ガイドの作成	2,000,000円	
38	東京都	特定非営利活動法人キッズドア 理事長 渡辺 由美子 (わたなべ ゆみこ)	子どもの貧困解決に向けてー教育格差の要因分析と貧困の連鎖を断ち切る学習支援方法の研究開発	2,800,000円	
合 計				38 件	90,000,000円

第49回（平成30年度）三菱財団社会福祉 事業・研究助成先一覧

番号	所在地	名 称	使 途	金 額
1	東京都	国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 ストレス研究室長 安藤 哲也（あんどう てつや）	摂食障害の効果的な治療法の普及に関する研究	1,800,000円
2	東京都	国立精神・神経医療研究センター病院 研究員 池澤 聡（いけざわ さとる）	小児がん患児への認知機能トレーニングの導入と効果の検討	2,450,000円
3	東京都	一般社団法人 ユニバーサル志縁センター 代表理事 池田 徹（いけだ とおる）	社会的養護下やそれに準ずる困難な家庭で育った若者の就労自立支援スキーム構築のための調査研究事業	1,500,000円
4	愛知県	名古屋大学学生相談総合センター 心の発達支援研究実践センター 助教 井戸 智子（いどう ともこ）	障害学生（者）の就労支援のための包括的な就労査定・移行支援・調整プログラムのパッケージ開発	2,200,000円
5	岡山県	岡山大学病院 助教 井上 真一郎（いのうえ しんいちろう）	地域医療に資する一般病院におけるポリファーマシーに関する処方適正化システムの確立	800,000円
6	東京都	東京大学大学院情報理工学系研究科 准教授 入江 英嗣（いりえ ひでつぐ）	ドローンおよびモバイルコンピュータを用いた視覚障害者外出支援システムの研究開発	3,600,000円
7	京都府	同志社大学商学部 准教授 瓜生原 葉子（うりゅうはら ようこ）	次世代を中心とした行動変容を促す科学的手法の開発と実装による検証体系的な臓器提供意思表示率の改善	4,300,000円
8	大阪府	関西福祉科学大学社会福祉学部 教授 遠藤 洋二（えんどう ようじ）	児童養護施設等における児童間性暴力の予防・発見・対応に関する実践モデル開発に関する研究	2,750,000円
9	大阪府	大阪大学大学院医学系研究科 博士課程後期 大村 優華（おおむら ゆうか）	介護者アシスト機能を有する体位変換装置の開発に向けた看護ケアの検証	900,000円
10	埼玉県	埼玉県立大学保健医療福祉学部 准教授 小川 孔美（おがわ くみ）	地域連携・協働を基盤とした住民主体による課題解決力強化のための包括的相談支援体制モデルの構築	2,100,000円
11	東京都	上智大学総合人間科学部 准教授 笠原 千絵（かさはら ちえ）	本人リサーチャーと開発する暮らし・たすけあいフォーマット：将来の暮らしに関するインクルーシブ調査	2,700,000円
12	京都府	京都大学大学院医学研究科 教授 木下 彩栄（きのした あやえ）	公共の場・家庭において認知症患者が使いやすいプロダクトデザインについての研究	1,800,000円
13	熊本県	崇城大学工学部 助教 古賀 元也（こが もとや）	車いすナビゲーション・システムの実用化に向けた議論、計画、実行そして有用性の検証ー参加型福祉のまちづくりの実現のための実践的取り組みー	5,000,000円

[名称（個人・団体）50音順、以下同じ。]

番号	所在地	名 称	使 途	金 額
14	東京都	公益財団法人東京都医学総合研究所 精神行動医学研究分野 研究員 古田島 浩子 (こたじま ひろこ)	覚せい剤依存患者の社会復帰支援に向けた行動療法と薬剤投与の併用効果の検討	2,800,000円
15	東京都	国立成育医療研究センター研究所 研究員 小西 瑞穂 (こにし みずほ)	食物アレルギー児の治療アドヒアランス向上プログラムの作成ー増加する食物アレルギーの治療への貢献ー	2,350,000円
16	東京都	日本社会事業大学社会福祉学部 教授 斉藤 くるみ (さいとう くるみ)	アジアの被災地を結ぶ聴覚障害者支援ネットワークのモデル構築とツール開発	1,800,000円
17	茨城県	筑波大学システム情報系 教授 酒井 宏 (さかい こう)	被虐待児童へのアートセラピーの適応：認知神経科学による現象理解と有効なアートの提案	2,600,000円
18	東京都	東京大学大学院医学系研究科 博士課程後期 鈴木 征吾 (すずき せいご)	学校内での医療的ケアが児童生徒の健康関連QOLに及ぼす影響についての縦断研究	1,700,000円
19	静岡県	浜松医科大学大学院医学系研究科 教授 武田 江里子 (たけだ えりこ)	在日外国人に対する子育て支援のあり方の検討：母親の気質に応じたリーフレットと相談窓口の有用性	1,900,000円
20	新潟県	新潟大学医歯学総合病院 病院講師 竹中 彰治 (たけなか しょうじ)	要介護高齢者を支える家族の口腔ケアの省力化を実現する製品の開発と在宅介護用口腔ケアガイドラインの作成	2,000,000円
21	東京都	東京大学大学院医学系研究科 准教授 武村 雪絵 (たけむら ゆきえ)	コンピテンシーモデルを用いた3層リフレクションによる看護管理者の能力開発プログラムの評価：準実験研究	1,950,000円
22	東京都	東京大学医学部附属病院 講師 問田 千晶 (といた ちあき)	小児多数傷病者に対応可能な診療システムの開発研究	2,600,000円
23	茨城県	筑波大学医学医療系 教授 徳田 克己 (とくだ かつみ)	高齢者にみられるペットロス症候群を予防するためのペット依存生活の改善方法の開発	1,200,000円
24	神奈川県	慶應義塾大学総合政策学部 准教授 中室 牧子 (なかむろ まきこ)	質の高い幼児教育は、子どもの就学期の学力や生きる力にどのような影響を与えるのか	5,400,000円
25	千葉県	千葉大学大学院医学研究院 特任准教授 橋本 佐 (はしもと たすく)	周産期から取り組む包括的児童虐待防止システム構築のための調査研究	2,700,000円
26	岡山県	岡山大学全学教育・学生支援機構 学生総合支援センター 准教授 原田 新 (はらだ しん)	発達障害特性の強い大学新入生への移行支援：漫画教材を活用した大1コンフェーション予防対策プロジェクト	1,700,000円
27	京都府	京都大学総合臨床教育・研修センター 助教 肥田 侯矢 (ひだ こうや)	大腸がん患者の就労継続および職場復帰に資する研究	2,700,000円

番号	所在地	名 称	使 途	金 額
28	福島県	福島県立医科大学医学部 講師 日高 友郎 (ひだか ともお)	放射性廃棄物の中間貯蔵施設整備により故郷を喪失する住民に対する心理支援に向けたニーズ調査研究	1,200,000円
29	三重県	鈴鹿医療科学大学保健衛生学部 教授 藤原 正範 (ふじわら まさのり)	司法に関わるソーシャルワーカーの研修プログラムの開発	2,500,000円
30	千葉県	千葉大学大学院看護学研究科 特任准教授 前原 邦江 (まえはら くにえ)	生殖補助医療によって妊娠した女性とかかわる看護職者に向けた研修プログラムの開発	1,400,000円
31	兵庫県	甲南女子大学 看護リハビリテーション学部 教授 丸 光恵 (まる みつえ)	イスラム看護指針およびムスリム患者対応能力アセスメント指標の作成：医療における多文化共生を目指して	2,500,000円
32	兵庫県	NPO法人宝塚高次脳機能障害者共生の会 地域活動支援センターWakaba 施設長 宮原 智子 (みやはら ともこ)	高次脳機能障害者の障害の気づきに影響を及ぼす要因の検討	900,000円
33	岩手県	岩手医科大学医学部 講師 八木 淳子 (やぎ じゅんこ)	東日本大震災後に誕生した子どもとその家族への縦断的支援研究－子どもの発達の多角的評価と包括的支援－	3,500,000円
34	東京都	特定非営利活動法人ReBit 代表理事 薬師 実芳 (やくし みか)	多様な性についての学校教育が児童生徒に及ぼす効果について	1,800,000円
35	奈良県	社会福祉法人ふるぽの 理事長 山内 民興 (やまうち たみおき)	AI手法により蓄積された就労支援のデータから障害者の職業準備力を規格化する調査・開発の取組	8,450,000円
36	大阪府	大阪大学医学部 教授 山崎 あけみ (やまざき あけみ)	市民との対話から探究する学童を育てている家族の食に関する多彩な家族保健機能	950,000円
37	新潟県	新潟大学工学部 准教授 渡辺 哲也 (わたなべ てつや)	視覚障害教育のための3Dプリンタによる立体日本地図の製作とその普及	1,500,000円
合 計				37 件 90,000,000円